

企業概要

■社名：有限会社楠野製作所（大阪府）

■従業員数：5人 ■資本金：8百万円

■事業内容：アミューズメント機の企画・製造・販売

<http://prizegame.jp/>

■売上高：1.1億円

■知的財産：特許15件、意匠6件、
商標11件



主力製品 マウスパニック

相談のきっかけ

更なる知財戦略の強化

地元金融機関から知財の観点で潜在的な課題があるとして知財総合支援窓口を紹介された。これまでも知財対策に取り組んでいるが、費用対効果を考えれば、更に注意すべき点があることから、知財管理経験がある専門家の助言を得て知財戦略の再検討が必要と考えた。

消耗品活用を含めた新事業戦略の検討

業界慣習や、これまでの経緯により、商社主導の事業展開を行っているが、本来的な事業戦略の基本を確認しつつ、利益を最大限にする事業戦略を検討したい。

※プライズゲーム⇒景品を獲得することを目的としたアーケードゲーム

課題と支援の内容

課題	支援のポイントと活用した専門家
知財戦略	<ul style="list-style-type: none"> 権利範囲の広さを考慮して、出願戦略を修正する。装置の要部、不可避部品、商標の本質を理解し検討する。 弁理士 企業OB
消耗品対策	<ul style="list-style-type: none"> 装置産業では、メンテ・消耗品でビジネスすることが重要であり、純正消耗品が有利になるように設計・知財対策を行う。 弁理士 企業OB
海外販売戦略	<ul style="list-style-type: none"> 安くキット販売すると、短期的に売り上げは増加するが、自らの販売市場を奪うことになる。専門家を交えて海外販売戦略について検討する。 弁理士 企業OB
上記以外の戦略	<ul style="list-style-type: none"> 契約上の留意点の整理 自社の強みを踏まえた値決め原則 ノウハウ等のブラックボックス化の検討 海外取引相手の目利き方法の検討 弁理士 企業OB

リーダー：中泰広（知財管理専門家）

支援担当者：大澤真一（大阪府知財総合支援窓口）

支援を通じてできたこと

項目	支援成果
知財戦略	<ul style="list-style-type: none"> 権利化した当社知財の権利範囲について整理し、これまでの問題点を理解した上で新規出願できるようになった。商標を理解し、製品へのブランド表示を徹底できた。
消耗品対策	<ul style="list-style-type: none"> 消耗品に関して積極的な特許出願の検討を行った。 真正品を積極的に使ってもらおうべく、契約変更できた。
新事業戦略	<ul style="list-style-type: none"> 他業界研究により、商取引改善点を確認した。 ビジネスモデルキャンバスにて、情報提供を強化すべき場面を確認でき、当社製品のヒット原因を探れ、事業承継者含めて情報と意識の共有を行えた。

社長の支援成果についてのコメント

今回の支援を通じて知財戦略の勘所を教えていただくとともに、新規出願案件についても窓口でアドバイスしていただき助かっています。また、ビジネスモデルキャンバスや開発分析により社内情報共有ができ事業承継の一助となりました。アーケードゲーム業界特有の商慣習も多く、普遍的な取引を確認しつつ改善提案をいただき助かりました。